

「岐阜県発日本一、世界一」調査票

部(局):教育委員会

[7月分]

課(室):スポーツ健康課

その1

担当者:芝山玲子(内線)3354

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)
第30回全日本大学ホッケー王座決定戦				
女子	3位	H23.7.2	東海学院大	東海学院大は準決勝の前半を1-1で折り返したが、後半、点を奪えないまま、相手に追加点を許し、惜しくも3位となった。 (奈良県天理市:親里ホッケー場)
男子	2位	H23.7.3	朝日大	朝日大は決勝戦で一進一退の攻防を続け、延長戦まで持ち込んだが、勝負がつかず、最後のPK戦で惜しくも敗れ、2位となった。(同上)
第19回アジア陸上競技選手権 兵庫・神戸大会				
女子七種競技	3位	H23.7.9	桐山 智衣 (中京大2年)	桐山はやり投げ1位を含むトータル5442点で見事3位入賞を果たした。 (兵庫県神戸市:神戸総合運動公園ユニバー記念競技場)
男子4×100m	1位	H23.7.10	日本 (齋藤 仁志 他)	齋藤は日本チームのアンカーとしてレースに出場し、39秒18で見事優勝した。 (同上)
女子4×400m	1位		日本 (青木 沙弥佳 他)	青木は日本チームの第1走者としてレースに出場し、3分35秒で見事優勝した。 (同上)
男子200m	2位		齋藤 仁志 (サンメッセ)	齋藤はトップと0.34秒差となる20秒75で2位となった。 (同上)
2011アジアフェンシング選手権(ソウル)大会				
女子フル レ団体	2位	H23.7.11	日本 (平田 京美 他)	日本は決勝戦において20対45で韓国に敗れ、惜しくも2位となった。 (韓国:ソウル)
女子エペ団体	3位	H23.7.12	日本 (中野 希望 他)	日本は準決勝で敗れたが、3位決定戦で香港を破り、3位となった。 (同上)
女子サーブル団体	3位		日本 (中山 セイラ 他)	日本は、3位決定戦でカザフスタンを破り、3位となった。 (同上)
第3回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	2位	H23.7.16	岐阜 (和田 彩華・竹村 奈緒美・岡安 美登理 萩田 ひろみ・冨多 ちはり)	岐阜は佐賀との決勝戦で中堅、副将が連敗し、0-2で2位となった。 (東京都千代田区:日本武道館)
第59回全日本実業団アーチェリー大会				
男子コンパウンド個人	1位	H23.7.17	山田 彰 (トーカイ)	山田は本大会8度目の優勝を果たした。 (岐阜県高山市:中山公園陸上競技場)
コンパウンド団体	1位		各務原航空機器	各務原航空機器は団体で見事優勝した。 (同上)
第61回全日本実業団卓球選手権大会 女子	2位	H23.7.18	十六銀行	十六銀行は決勝戦を0-3のストレートで落とし、惜しくも2位となった。 (秋田県秋田市:秋田市立体育館)
第81回全日本大学総合卓球選手権 女子団体	2位	H23.7.21	朝日大	朝日大は決勝ダブルスで勝利したが、シングルスで連敗し、1-3で惜しくも2位となった。 (大阪府東大阪市:東大阪市立総合体育館)
第24回全国少年フェンシング大会				
クラスB(小学4~6年生の部)女子フル	2位	H23.7.22	辻 すみれ (はしまアFC・西部小6年)	辻は昨年3位から順位を上げて準優勝となった。 (東京都台東区:台東リバーサイドスポーツセンター体育館)
ノービス(小学3・4年生の部)男子フル	3位		加藤 颯斗 (はしまアFC・西部小4年)	加藤はノービス(新人)で参加し、3位に入った。 (同上)

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)
2011世界ジュニアレスリング選手権 女子48kg級		1位	H23.7.29	長沼 美香 (至学館大4年)	長沼は初戦から順調に勝ち上がり、決勝では第1ピリオドを取られたものの最後はフォール勝ちで見事優勝した。 (ルーマニア: プカレスト)
第49回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会					
チーム・ライフル立射40発競技女子団体		1位	H23.7.29	済美高校 (松巾 亜由・本田 光希・尾関 菜央)	済美は合計1249.3点の日本新記録をマークし、見事2連覇を果たした。 (広島県山県郡: つつがライフル射撃場)
チーム・ライフル立射60発競技男子団体		3位		郡上北高校 (武藤 健一・上杉 旭宏・村瀬 友哉)	郡上北は合計1850.2点で3位に入賞した。 (同上)
チーム・ライフル立射40発競技女子個人		2位	H23.7.30	本田 光希 (済美高2年)	本田は521.9点で2位に入った。 (同上)
チーム・ライフル立射60発競技男子個人		2位	H23.7.31	土屋 陽平 (済美高2年)	土屋はトップに0.7点差の727.4点で惜しくも2位となった。 (同上)
第29回全国小学生テニス選手権大会 男子シングルス		1位	H23.7.30	堀江 亨 (桜ヶ丘小6年)	堀江は決勝で2セット目を落としたものの、1セット、3セットを勝利し、見事優勝した。 (東京都世田谷区: 第一生命保険株式会社 相模園総合グラウンドテニスコート)
第42回全国選抜社会人相撲選手権大会		3位	H23.7.31	全岐阜 (森 貴宜・木村 雄・ 安田 竜浩・野村 昌史)	全岐阜は予選を3戦全勝で決勝トーナメントに進み、準決勝で敗れたものの、3位決定戦で九州電力を2-1で破り、3位入賞を果たした。 (石川県津幡町: 津幡町相撲場)
平成23年度全国高等学校総合体育大会					
フェンシング	女子フルレ個人	1位	H23.7.31	川村 理紗 (揖斐高3年)	川村は決勝序盤でリードを許したが、7-7まで追い上げ、延長戦に持ち込むと、残り5秒で相手の一瞬の間をとらえる一突きで見事初優勝を果たした。 (青森県むつ市: むつ市ウェルネスパークしもきた克雪ドーム)
	男子フルレ個人	3位		伊藤 真 (大垣南高3年)	伊藤は惜しくも準決勝で敗れたが、3位決定戦において15-13で勝利し、3位となった。 (同上)
新体操	男子個人総合	1位	H23.7.31	臼井 優華 (済美高2年)	臼井はスティックで9.425点、リングで9.350点と、ともにトップのスコアをマークし、トータル18.775点で見事完全優勝を果たした。 (青森県青森市: マエダアリーナ)
	男子種目別スティック	1位			
	男子種目別リング	1位			